

教科名		図画工作	教科書調査報告(教科書調査委員会)
調査の観点	発行者名	開隆堂出版	日本文教出版
A 内容 について	(1) 基礎・基本の確実な定着に関する配慮や工夫がなされているか。	<ul style="list-style-type: none"> ・学習指導要領で示されている材料は、学習活動(単元)に網羅されていないが、「ひらめきコーナー」や「造形の引き出し(学びの資料)」において補完されている。 ・全ての学習活動(単元)に、学習のめあてが3つ立てられており、特に考えさせたいめあてが太字で強調されている。 ・作り方や道具の扱いなどが、QRコードでも表示されており、タブレット端末で確認することができる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・学習指導要領で示されている材料が、全学年にわたって単元の題材として網羅され扱われている。 ・各題材のめあてが、3つずつ立てられており、視覚的にも分かりやすく表記されている。 ・学習活動のヒントとなる「ひらめきポケット」では、児童の身近にある物や材料、場所が示されている。
	(2) 課題解決のために必要な思考力や判断力、表現力等を育成することに関する配慮や工夫がなされているか。	<ul style="list-style-type: none"> ・見開き2ページの中で、導入→展開→振り返りの流れと共に活動の写真や作品、吹き出しが見やすく配置されており、身に付けたい力を理解しやすくなっている。 ・題材の作り方が分かりやすく掲載されており、作品を制作しやすくなっている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・見開き2ページで一つの単元の構成となっており、表記された3つのめあての文を踏まえた、学習を進めるための資料が流れに沿って示されている。 ・題材が理解しやすい表現で説明されており、児童の主体的な活動を促すことにつながっている。
	(3) 資料が精選され、その内容が時代に即応したものになっているか。	<ul style="list-style-type: none"> ・「つながる造形」「造形の引き出し」に学習単元から発展させた内容が掲載されている。 ・プログラミング教育を取り入れた題材が入っている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・現代アーティスト、現代工芸品、身の回りのデザイン、現代カルチャーなどが多く掲載されている。 ・様々な材料を使う題材や、友達と関わり合いながら作る題材(共同制作)が多い。
	(4) 持続可能な社会づくりに向けた教育・ESDの視点を取り入れられているか。	<ul style="list-style-type: none"> ・自分のことを見つめる題材や、地域や身近な場所をテーマにした題材、理想の町をテーマにした題材が扱われている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・自分のことを見つめる題材や地域や身近な場所をテーマにした題材が扱われている。SDGsの記載もある。
B 使用上の 便宜 について	(1) 児童が主体的に学習を進めやすいような便宜が図られているか。	<ul style="list-style-type: none"> ・基本の制作手順が、大きく分かりやすく示されている。 ・制作する上でのヒントが吹き出しで示されており、作品を制作しやすい。 ・道具や材料の扱い方が、巻末に分かりやすくまとめられている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・様々な制作方法が写真と共に示されている。 ・児童の活動過程の写真が多く、吹き出しの言葉も分かりやすく、児童の発想や工夫、深まりにつながる。 ・道具や材料の扱い方が、巻末に分かりやすくまとめられている。
	(2) 多摩市という地域の実態に即しているか。	<ul style="list-style-type: none"> ・多摩市にある身近な材料や、自然環境を生かした題材が扱われている。 ・日本の代表的な伝統工芸が紹介されている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・多摩市に存在する身近な材料や、自然環境を生かした題材が多く扱われている。 ・各地の文化に根差した特徴的な伝統工芸や作品が紹介しており、多摩市と比較しながら読み進められる。